



S.Setoguchi

THE NIKKAN SPORTS SHO SHINZAN KINEN

第58回 日刊スポーツ賞 シンザン記念 (GⅢ)

1 着 2 着 3 着 4 着 5 着
本 賞 41,000,000円 16,000,000円 10,000,000円 6,200,000円 4,100,000円
付加賞 651,000円 186,000円 93,000円



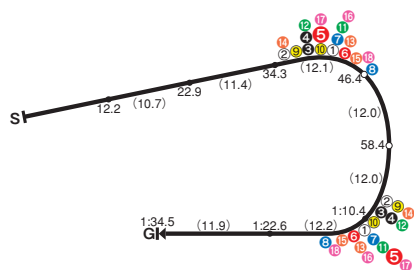
レース映像は
こちらでご覧
いただけます。

3 歳、除未出走馬および未勝利馬
負担重量 馬齢重量

2024.1.8 京都 晴・良 芝1600m (国際) (特指)

順	馬番	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑤	ノーブルロジャー	牡	3	57	川田将雅	1:34.5	10-7	35.7	484(+8)	4.9③	吉岡辰弥(栗東)	110
2	⑬	エコブルーム	牡	3	57	C.ルメール	1¼	4-4	36.1	464(-4)	2.8①	加藤征弘(美浦)	107
3	④	ウォーターリヒト	牡	3	57	幸 英明	アタマ	17-16	35.2	458(-4)	207.6⑦	河内 洋(栗東)	107
4	⑥	ランザロープス	牝	3	55	横山典弘	½	4-4	36.2	444(+6)	31.2⑧	武幸四郎(栗東)	102
5	⑩	ショーマンフリート	牡	3	57	戸崎圭太	1¼	6-4	36.4	504(+18)	4.8②	手塚貴久(美浦)	
6	①	ティエムリステット	牡	3	57	酒井 学	クビ	6-7	36.3	466(+2)	202.5⑩	木原一良(栗東)	
7	⑨	アルトゥーム	牡	3	57	藤岡佑介	ハナ	16-16	35.6	438(+4)	17.4⑥	藤岡健一(栗東)	
8	⑧	ゼルトザーム	牡	3	57	北村友一	クビ	1-1	36.8	464(+7)	227.8⑩	加用 正(栗東)	
9	②	ケープバル	牝	3	55	藤岡康太	クビ	13-13	36.0	422(-12)	37.7①	友道康夫(栗東)	
10	⑦	タイキヴァンクール	牡	3	57	浜中 俊	1½	6-7	36.6	506(±0)	20.1③	中尾秀正(栗東)	
11	⑩	バレルターン	牡	3	57	西村淳也	½	10-12	36.5	460(-4)	16.9⑤	茶木太樹(栗東)	
12	⑤	フェリーニ	牡	3	57	松山弘平	クビ	3-3	37.1	506(±0)	78.4④	橋口慎介(栗東)	
13	⑦	ナイトスラッガー	牡	3	57	L.モリス	1¼	10-7	36.9	516(-6)	9.7④	小栗 実(栗東)	
14	②	ノボリショウリュウ	牡	3	57	角田大河	½	17-16	36.4	458(+2)	94.7⑩	石橋 守(栗東)	
15	③	タイセイレスボンス	牡	3	57	M.デムーロ	クビ	13-13	36.6	480(±0)	30.4⑨	安田翔伍(栗東)	
16	⑥	メイショウサチダケ	牡	3	57	和田竜二	クビ	2-2	37.6	480(+8)	70.1⑩	鈴木孝志(栗東)	
17	④	デルシエロ	牡	3	57	坂井耀星	2	13-13	37.0	404(±0)	43.2⑩	清水久詞(栗東)	
18	①	シトルール	牡	3	57	A.ルメール	3	6-7	38.0	478(+2)	18.7⑦	萩原 清(美浦)	

単勝⑤490円(3¼) 複勝⑤200円(2¼) ⑬150円(1¼) ④2,580円(16¼) 枠連③-⑦830円(3¼)
馬連⑤-⑬930円(1¼) ワイド⑤-⑬440円(1¼) ⑤-⑬10,850円(81¼) ③-⑬10,500円(80¼)
馬単⑤-⑬2,060円(3¼) 3連複⑤-⑬-⑬50,030円(155¼) 3連単⑤-⑬-⑬216,260円(651¼)



通過タイム : 600m 800m 1000m 上り : 800m 600m
34.3 - 46.4 - 58.4 48.1 - 36.1

アラカルト

- ・川田将雅騎手はシンザン記念初勝利。JRA重賞は通算131勝目
- ・吉岡辰弥調教師はシンザン記念初勝利。JRA重賞は通算3勝目
- ・Palace Malice産駒はJRA重賞通算3勝目

⑨ ノーブルロジャーUSA *Noble Roger*

牡 黒鹿毛 2021.5.8生

アメリカ Candy Meadows LLC生産

馬主・株ノルマンディーサラブレッドレーシング 栗東・吉岡辰弥厩舎

馬名意味・気高い+人名より

F9-a

Palace Malice 鹿毛 2010	Curlin 栗毛 2004	Smart Strike
		Sherriff's Deputy
Noble Ready 黒鹿毛 2014	Palace Rumor 鹿毛 2003	Royal Anthem
		Whisperifyou dare
	More Than Ready 黒鹿毛 1997	Southern Halo
		Woodman's Girl
	Aristocratic Lady 黒鹿毛 2002	Kris S.
		American Dynasty

5代までのインブリード：Mr.Pro prospector S4×M5 Roberto M4×S5
Hail to Reason M5×M5

INTERVIEW

岡田将一代表

(株ノルマンディーサラブレッドレーシング)

吉岡調教師のひと言が印象に残っています

厳しい展開にもかかわらず新馬戦と同様に完成度の高い大人びたレースをしてくれました。フロリダのトレーニングセールで初めて見た時はダートの短距離向きだと思ったのですが、日本到着後の調教を見て芝でも通用する馬だと考えを改めました。吉岡調教師に初めて見ていただいた際に「この馬は絶対に走る」と、とても情熱的に言われたことが印象に残っています。



S.Naka

東京・芝1600mの新馬戦は2番手追走から抜け出して快勝、差しに構えたこの日は鮮やかな大外強襲を決めた。レースセンスとポテンシャルの高さを存分にアピールした本馬の父パレスマリスは、無傷の2歳王者ジャンタルマンタルを送り出して脚光を浴び、今年から日本で供用されることが決まっている。今後は毎日杯へ駒を進める本馬だが、父の産駒たちと同様、その後の進路も大いに注目される。

父パレスマリス Palace Malice

アメリカ産 北米19戦7勝(ベルモントS^G₁、メトロポリタンH^G₁、ガルフストリームパークH^G₂、ニューオーリンズH^G₂、ジムダンディS^G₂、ウエストチエスターS^G₃、ジョッキークラブゴールドC^G₁2着)、16年から米で供用
〔代表産駒〕**ジャンタルマンタル**(朝日杯フューチュリティS^G₁、デイリー杯2歳S^G₁)、**ストラクチャーUSA**(BCジュベナイルターフ・米^G₁、ビルグリムS・米^G₃)、**ミスターモノモイ** Mr.Monomoy(リズンスターS・米^G₂)、**ノーブルロジャーUSA**(本馬)、**ライクザキング** Like the King(ジェフルビーS・米^G₃)、**フライオンエンジェル** Fly On Angel(チャールズタウンオークス・米^G₃)、**クリスタル** Crystalle(PGジョンソンS・米L、ミスグリロS・米^G₂2着)

母ノーブルレディ Noble Ready

アメリカ産 北米11戦2勝(PGジョンソンS・L2着、ハニーライダーS2着、チエルシーフラワーS3着)

スーパーロイヤルムーン Souper Royal Moon(19 驛父Malibu Moon)北米18戦3勝

プロフェッサーヒギンズ Professor Higgins(20 牡父Oscar Performance)北米4戦1勝

ノーブルロジャーUSA 本馬(21 牡父Palace Malice)中央2戦2勝(シンザン記念^G_{III}) 獲得総賞金48,851,000円

ソックイットトゥミー Sock it to Me(22 牡父Violence)

祖母アリストクラティックレディ Aristocratic Lady

アメリカ産 北米、仏2勝

ウエスタンアリストクラト Western Aristocrat(08 牡父Mr.Greely)英、北米、首4勝(ジャマイカH・米^G₁、ハリウッドダービー・米^G₁3着、ジャージーS・英^G₃3着、サラブレッドS・英L3着)、種牡馬

ジンダヤ Zindaya(11 牡父More Than Ready)北米6勝(ゴルディコヴァS^G₂、インターコンチネンタルS・L、インターコンチネンタルS、ライセンズフィーS、ノーブルダムゼルS^G₃2着、オータムミスS^G₃3着)、

カールスパックラー Carl Spackler(ナショナルミュージアムオペレーティングホールオブフェイムS・米^G₂、サラナクス・米^G₃)の母

エカースリー Eckersley(12 驛父Congrats)北米3勝(オールアメリカンS^G₃3着)

オンザフロントライン On the Front Line(13 牡父War Front)カタール、仏5勝

ノーブルレディ Noble Ready(14 前出)

旬な血筋の米国産馬が無敗で重賞V

フルゲートを埋めた18頭のうち、2勝馬は函館2歳Sの覇者ゼルトザームのみ。1勝馬が17頭を占める頭ぶれによって争われたシンザン記念は、昨年11月の未勝利戦を4馬身差で圧勝したエコロブルームと、熱発のため東京スポート杯2歳Sを回避した後、態勢を立て直されて重賞へ矛先を向けてきたショーマンフリートが1、2番人気に支持された。前者はJRA通算1300勝に王手をかけているダイワメジャー産駒、後者は新鋭種牡馬スウィーヴリチャードの産駒。しかし勝利の女神が微笑んだのは2頭に負けず劣らずの、旬な血筋を持つ米国産馬ノーブルロジャーだった。

ハイペースで飛ばしたゼルトザームは残り200m地点で失速。かわって目を引く脚勢で追い込んだのがノーブルロジャーだった。3コーナーの坂の下りで馬群の外へ持ち出して徐々に進出を開始し、先行勢を射程に収めた川田騎手は大外に進路を取ってスパート。鋭い決め手を繰り出した馬は先頭に立つてからもさらに加速し、エコロブルーム以下の反撃を寄せ付けずにゴールを駆け抜けた。

東京・芝1600mの新馬戦は2番手追走から抜け出して快勝、差しに構えたこの日は鮮やかな大外強襲を決めた。レースセンスとポテンシャルの高さを存分にアピールした本馬の父パレスマリスは、無傷の2歳王者ジャンタルマンタルを送り出して脚光を浴び、今年から日本で供用されることが決まっている。今後は毎日杯へ駒を進める本馬だが、父の産駒たちと同様、その後の進路も大いに注目される。